

# 議会だより

題字は、泉小学校6年生 青山結泉さんの作品です。

発行：土岐市議会 編集：議会だより編集委員会 TEL0572-54-1111 FAX0572-54-8971 E-mail : gikai@city.toki.lg.jp



## Contents

- 第2回臨時会報告…… 2～3
- 第1回定例会報告… 4～12
- 一般質問…………… 13～16
- 視察報告…………… 17
- 特別委員会活動報告…… 18
- 政務活動費収支報告…… 19
- 編集後記…………… 20

## 新庁舎 議場

新庁舎の議場は、木材を基調にした、温かい雰囲気です。是非みなさん、傍聴にお越しください。

## 令和元年第2回臨時会報告

### 議会新体制スタート

5月8日に第2回臨時会が開催され、正副議長をはじめ各委員などが選出されました。議会構成は次のとおりです。



監査委員 後藤 久男



議長 山田 正和



副議長 水野 哲男

### 議長あいさつ

市民の皆様には、平素より、市議会に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび、改選後初の5月臨時会において議長の重責を担うこととなり、改めてその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。議会の果たすべき役割を十分認識し、開かれた議会、信頼される議会として、公正かつ円滑な議会運営に努め、本市の発展と市民福祉の向上に最善の努力を尽くして参りますので、皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 山田 正和

## 常任委員会の名称が変わりました

平成31年4月1日から、これまでの第1常任委員会、第2常任委員会から、下記のように名称と所管部署が変更になりました。

名称	所管事項	定数
総務産業建水委員会	総務部、地域振興部、建設水道部、会計課、消防本部、文教厚生委員会に属さない事項	9人
文教厚生委員会	市民生活部、健康福祉部、教育委員会、病院事業	9人

# 議 会 構 成

正 副 議 長

議 長 山田 正和  
副 議 長 水野 哲男  
監査委員 後藤 久男

委員会構成等 ○委員長 ○副委員長

議会運営委員会

○杉浦 司美 ○加藤 辰亥 小栗 恒雄 高井由美子  
加藤 淳一 鈴木 正義 北谷 峰二 各務 和彦

常任委員会

総務産業建水委員会

○各務 和彦 ○安藤 学 小栗 恒雄 高井由美子  
楓 博元 加藤 辰亥 山田 正和 鈴木 正義  
和田 悦子

文教厚生委員会

○水石 玲子 ○西尾 隆久 杉浦 司美 加藤 淳一  
後藤 久男 北谷 峰二 水野 哲男 小関 篤司  
後藤 正樹

特別委員会

議 会 改 革

○小栗 恒雄 ○加藤 淳一 杉浦 司美 加藤 辰亥  
後藤 久男 山田 正和 和田 悦子 水石 玲子  
安藤 学

行 財 政 改 革

○楓 博元 ○高井由美子 西尾 隆久 鈴木 正義  
北谷 峰二 各務 和彦 水野 哲男 小関 篤司  
後藤 正樹

組 合 等 議 員

東濃農業共済事務組合 山田 正和  
東濃西部広域行政事務組合 山田 正和 各務 和彦  
水石 玲子  
土岐川防災ダム一部事務組合 山田 正和  
土岐市及び瑞浪市休日急病診療所組合 山田 正和 水石 玲子  
西尾 隆久

議 員 団 長

(土岐津) 高井由美子 (下石) 杉浦 司美 (妻木) 鈴木 正義 (濃南) 水野 哲男  
(駄知) 後藤 久男 (肥田) 水石 玲子 (泉) 加藤 辰亥

# 令和元年 第2回臨時会議決状況

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第31号	土岐市監査委員の選任同意について	後藤久さんの選任同意
議第32号	土岐市副市長の選任同意について	鷺見直人さんの選任同意
議第33号	土岐市税条例の一部を改正する条例について	ふるさと納税の見直し、新元号表記等、所要の改正を行うもの
議第34号	土岐市固定資産評価員の選任同意について	松原裕一さんの選任同意
議第35号	専決処分報告及び承認について 専第4号 平成30年度土岐市一般会計補正予算(第7号)	補正額 54,641千円
議第36号	専決処分報告及び承認について 専第5号 土岐市税条例等の一部を改正する条例について	住宅ローン控除の控除期間を3年間延長する等、所要の改正を行ったもの。
議第37号	専決処分報告及び承認について 専第6号 土岐市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法一部改正に伴い、項ずれが生じたため、所要の改正を行ったもの
議員提出第2号	議会改革特別委員会の設置について	
議員提出第3号	行財政改革特別委員会の設置について	

○：賛成 ×：反対 -：棄権 ※：除斥

議案番号	議決結果	後藤正樹	安藤学	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	高井由美子	小栗恒雄	西尾隆久	
議第31号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	※	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第33号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第34号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第35号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第36号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議第37号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議員提出第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
議員提出第3号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	

# 平成31年 第1回定例会報告

第1回定例会には、平成31年度予算関係10件、平成30年度補正予算関係3件、条例関係10件、人事案件5件、その他の案件4件の合計32件が市長から上程されました。また、議員提出による条例が1件上程さ

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第1号	平成31年度土岐市一般会計予算	総額 23,340,000千円
議第2号	平成31年度土岐市国民健康保険特別会計予算	総額 6,057,163千円
議第3号	平成31年度土岐市駐車場事業特別会計予算	総額 137,145千円
議第4号	平成31年度土岐市介護保険特別会計予算	総額 6,010,550千円
議第5号	平成31年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計予算	総額 41,554千円
議第6号	平成31年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計予算	総額 5,765千円
議第7号	平成31年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算	総額 774,362千円
議第8号	平成31年度土岐市病院事業会計予算	総額 6,595,070千円
議第9号	平成31年度土岐市水道事業会計予算	総額 2,717,211千円
議第10号	平成31年度土岐市下水道事業会計予算	総額 3,123,739千円
議第11号	平成30年度土岐市一般会計補正予算(第6号)	補正額 1,179,086千円
議第12号	平成30年度土岐市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	繰越額 2,944千円
議第13号	平成30年度土岐市病院事業会計補正予算(第1号)	債務負担行為補正額 2,200,000千円
議第14号	土岐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	超過勤務命令を行うことができる上限を定める規定を追加するもの

れました。

今定例会に市長から上程されました予算関係、条例関係、その他の案件の25件は、各常任委員会に付託され、3月11日～15日に審査し、本会議において、原案のとおり可決しました。また、請願が1件提出され、不採択となりました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。○：賛成 ×：反対 -：棄権 欠：欠席

議案番号	議決結果	小関篤司	水石玲子	水野哲男	各務和彦	和田悦子	北谷峰二	鈴木正義	山田正和	後藤久男	加藤淳一	加藤辰亥	楓博元	杉浦司美	渡邊隆	高井由美子	山内房壽	小栗恒雄	西尾隆久
議第1号	可決	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議 長	○	○	○	○	×	×	○
議第2号	可決	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第3号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第4号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第5号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第6号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第7号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第8号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第9号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第10号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	×	○	○
議第11号	可決	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第12号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議第13号	可決	×	○	○	○	×	×	○	欠	×	○		○	○	×	○	○	○	○
議第14号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第15号	土岐市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について	土岐市訪問看護ステーションときめきの設置に伴い、病院手当の支給要件を見直すもの
議第16号	土岐市国民健康保険高額療養費貸付基金条例を廃止する条例について	基金の貸付実績が無いため、廃止するもの
議第17号	土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	施行令の一部改正に伴い、保険料の基礎賦課限度額等、所要の改正を行うもの
議第18号	土岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等における代替保育の連携施設及び食事の提供に関する規定を改正するもの
議第19号	土岐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童支援員の資格に関する規定について、所要の改正を行うもの
議第20号	土岐市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	駅前広場整備事業に伴い土岐市駅前広場自動車駐車を新設し、土岐市駅前自動車駐車を無人化、プリペイドカードを利用できるよう改正するもの
議第21号	土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について	規定中「日本工業規格」を「日本産業規格」に改めるもの
議題22号	土岐市水道事業経営審議会設置条例の一部を改正する条例について	土岐市水道事業経営審議会と土岐市下水道事業運営審議会を統合するため
議題23号	土岐市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について	布設工事監督者及び水道技術管理者の資格について、専門職大学の規定を追加する等、所要の改正を行うもの
議第24号	土岐市病院事業実施施設の指定管理者の指定について	土岐市立総合病院、土岐市国民健康保険駄知診療所、土岐市老人保健施設やすらぎ、土岐市訪問看護ステーションときめきの指定管理者として、岐阜県厚生農業協同組合連合会代表理事理事 藤井歳也を指定しようとするもの
議題25号	土地の処分について	市有地である土岐市下石町字脇ノ田1893番19外3筆を182,200,000円で吉田運輸倉庫株式会社代表取締役 吉田忠へ売却しようとするもの
議題26号	専決処分の報告及び承認について 専第1号 平成30年度土岐市一般会計補正予算(第5号)	補正額 58,320千円
議題27号	専決処分の報告及び承認について 専第2号 和解について	岐阜地方裁判所平成30年(ワ)第515号損害金請求事件について、平成31年2月21日に和解をするに当たり、専決処分したものの
議題28号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	東俊之さんの選任同意
議題29号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	酒井忠造さんの選任同意
議題30号	土岐市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	土屋芳枝さんの選任同意
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	林敬久さんの推薦同意
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	安藤公子さんの推薦同意
31請願第1号	土岐市病院事業の行う施設の管理を指定管理者に行わせる議案の慎重審議等を求める請願	
議員提出第1号	土岐市議会委員会条例の一部を改正する条例について	行政組織機構の見直しに伴い、常任委員会の所管事項を再編するとともに、名称を変更するもの

議案番号	議決結果	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	渡邊 隆	高井由美子	山内 房壽	小栗 恒雄	西尾 隆久	
議第15号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	可決	×	○	○	○	×	×	○	欠	×	○		○	○	×	○	-	-	○	○
議第25号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
諮第1号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
諮第2号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
31請願第1号	不採択	×	○	○	○	×	×	○	欠	×	○		○	○	×	○	×	×	○	○
議員提出第1号	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

※ 31 請願第 1 号は委員長報告「不採択」に対する賛否を表しています。

## 委員会報告(第1常任委員会)

### 平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

**質疑** 地方特例交付金の子ども・子育て支援臨時交付金については、幼児教育、保育の無償化による措置であるが、一時的なものか。

**答弁** 現在の情報では、6か月の特例交付金と聞いている。

**質疑** 繰入金の財政調整基金繰入金について、繰入額が増加している要因は。

**答弁** 病院事業への繰出金の増加が主な要因である。

**質疑** 医師確保奨学基金負担金返還金の返還理由について。

**答弁** 総合病院就職予定者に対する奨学金だが、他の医療機関に就職されたため返還していただくもの。

**質疑** 総務費の地域情報化推進事業補助金について。

**答弁** 市内のデジタル・ディバイドを解消するため曾木地区に光通信回線網を引く補助金である

**質疑** 国際交流事業について、どのような事業を予定しているか。

**答弁** ファエンツァ市の陶器や写真などを展示する交流事業を予定している。



ファエンツァの工房



国際陶磁器博物館

**質疑** 東京圏からの移住支援事業補助金の事業概要について。

**答弁** 東京23区在住もしくは在勤者が就労のため移住した場合、100万円以内の補助をするもの。

**質疑** 民生費の地域密着型サービス整備助成事業費補助金の施設整備計画について。

**答弁** 第7期介護保険事業計画において、地域密着型介護老人福祉施設を整備することとしており、昨年9月に公募により、事業者を美濃陶生苑に決定し、平成32年度開設予定である。

**質疑** 保育園、幼稚園、こども園の3歳以上児のクラスの中で、担任を受け持つ日々雇用職員は何名予定しているのか。

**答弁** 保育士が不足している状況は続いており、5、6名を予定している。

**討論** 財産区繰入金のうち、下水道繰入金の負担割合に疑問があり、この予算に反対する。

**討論** ごみ処理手数料の有料化により、低所得者に大きな負担となっているため、負担軽減の必要がある。

**討論** プレミアム付商品券事業は、消費税増税を前提とした事業であり認められないため、この予算に反対する。



### 平成31年度土岐市国民健康保険特別会計予算

**質疑** 特定健康診査事業について、受診率向上のための方策は。

**答弁** 30年度はAIを利用した受診勧奨により効果が上がった。31年度は、医師会と協力した情報提供事業や、国保連のコールセンターを利用した受診勧奨を実施し、更なる受診率向上に努めたい。

**質疑** 保険料は前年比どの程度を見込んでいるか。

**答弁** 対前年比、5、6%増を見込んでいる。

**討論** 基金などを活用し、保険料を抑制すべきであり、市民の負担が大きくなるこの予算に反対する。



### 平成31年度土岐市後期高齢者医療特別会計予算

**質疑** すこやか健診、さわやか口腔健診の受診率をどのように考えているのか。

**答弁** すこやか健診は20%、さわやか口腔健診は3%を目標として取り組んでいきたい。

### 平成31年度土岐市病院事業会計予算

**質疑** 医師数は、26名で予算計上し、現状は23名であるが、1日平均外来患者数が470名の受け入れは可能か。

**答弁** 非常勤医師の協力を得ることで470名の受け入れは可能である。

**質疑** 収入不足を補うため、一般会計から16億円繰入をして、市民の医療体制を守ることができるのか。

**答弁** 医師確保は、楽観できるものではないが、地域の2次救急を守っていけるよう努めたい。

**質疑** 高額な機器等の更新を予定しているが、経営状態が厳しい中、更新時期を考えてはどうか。

**答弁** 有用なものであり、耐用年数を大きく経過しており、壊れると診療に支障をきたすため、補助金を有効活用しながら、更新計画を進めていきたい。



### 平成30年度土岐市一般会計補正予算 (第6号) 所管部分

**討論** プレミアム付商品券事業は、消費税増税を前提とした事業であり、認められないため、この補正予算に反対する。



### 平成30年度土岐市病院事業会計補正予算 (第1号)

**質疑** 5年間で約22億円の指定管理料は当初、初期投資で大きな額を使うと思うが、どのような配分か。

**答弁** 指定管理料は、政策的医療介護交付金と経営基盤強化交付金の2つの交付金で構成している。そのうち、経営基盤強化交付金は、指定管理者の経営基盤を強化するためのもので、傾斜的に配分することを想定している。



### 平成30年度土岐市病院事業会計補正予算（第1号）

**質疑** 指定管理料の内訳について。

**答弁** 救急医療、小児医療、リハビリテーション医療、災害時医療、地域包括ケアの推進の5つの地域医療や介護を担っていただく対価である。

**討論** 国の医療費削減というプランに乗り、進められる指定管理に対する予算には反対する。

### 土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

**質疑** 今回の改正により、2割軽減、5割軽減の影響世帯は何件か。

**答弁** 2割軽減、5割軽減それぞれ20世帯弱が軽減の対象になる見込みである。

### 土岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

**質疑** 市内に、条例に規定される施設は何件あるのか。

**答弁** 地域型保育として4園ある。



### 土岐市病院事業実施施設の指定管理者の指定について

**質疑** 救急医療に関し、受け入れ体制を協定書に明記しないのか。

**答弁** 1年後の話であり明確になっていない。今後の協議事項である。

**質疑** 継続雇用される職員に対し給料減額分の補てんはないか。

**答弁** 職員組合等と何度も話し合いの場を持ち、現在検討中である。

**質疑** 周産期医療の確保について、どのような考えか。

**答弁** 現状の医療機能の維持を基本としており、周産期医療は、今後の検討事項である。

**質疑** 現在の医師数は23名であるが指定管理になることで、常勤医師は何名となるのか。

**答弁** 厚生連は5年で5名医師を増やすよう計画している。市としても引き続き医師確保に努力していきたい。

**討論** 拙速に決めないように、との請願も出ている。市民説明会が実施されていない執行部の姿勢にも違和感がありこの議案に反対する。

### 土岐市病院事業の行う施設の管理を指定管理者に行わせる議案の慎重審議等を求める請願について

**意見** 指定管理は、総合病院を立て直すラストチャンスである。市民の命、健康を守るため、スピード感を持って指定管理に向けて取り組む必要があり、この請願を不採択としたい。

**意見** 市民の命、健康を守るため、国に対して働きかけをするのは当然である。市民に対して説明不足の中、指定管理を進めていくのは拙速であり、この請願を採択したい。



## 委員会報告(第2常任委員会)

### 平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

**質疑** 教育費県補助金の日本スポーツマスターズ2019開催助成金について。

**答弁** 来年度岐阜県で開催されるもので、土岐市は軟式テニスの会場となり、開催に当たり市が負担する費用の1/2を県から補助を受けるものである。

**質疑** 浄化槽設置事業補助金について、何基分想定しているのか。

**答弁** 16基分である。



環境センター

**質疑** 環境センター長寿命化事業について、今後も2億円程度の支出が継続するのか。

**答弁** 躯体など大規模修繕は終了しているが、炉や機器などの定期的な修繕等、維持管理費が今後も必要である。

**質疑** 商工振興費のプレミアム付商品券発行事業について対象者への通知方法は。

**答弁** 対象である子育て世代へは、抽出後引換券を送付する。住民税非課税世帯へは、住民税確定後に申請書を送付するが、被扶養者、生活保護費受給者など対象から外れる方もあり、審査のうえ引換券を送付する。

**質疑** 観光PR事業について、事業内容は。

**答弁** 観光協会での新商品開発とイベント開催等の活動に対する補助、県の協議会での2020年に放送される大河ドラマ「麒麟がくる」のプロモーション用パンフレット制作等である。

**質疑** 商工振興費の美濃焼のうつわを楽しむ暮らし事業の内容は。

**答弁** まちづくりプロジェクト「土岐くらしのラボ」による、本物の美濃焼を土岐市から贈ろうという企画で、4月1日以降に生まれたお子さんを対象に美濃焼のすり鉢、離乳食レシピ及び陶育の絵本を配布する事業である。

**質疑** 橋梁整備事業について、耐震補強の進捗状況と実施予定数は。

**答弁** 補修、耐震補強の対象が79橋あり、34%ほど進んでいる。来年度は6橋を行う予定である。

**質疑** 教育指導費の35人学級について実施内容は。

**答弁** 国、県の基準とは別に、市からサポートティーチャーを派遣し中学校2年生、3年生のクラス編成を35人以下とするもので、来年度は土岐津中学校、西陵中学校が対象となっている。

**質疑** ふるさと魅力体験事業について、対象学年と内容は。

**答弁** ふるさと魅力体験事業は、来年度と再来年度の2年間で実施するもので、対象学年は学校により異なり、歴史的建造物や博物館等の県有施設を見学する事業である。



### 平成31年度土岐市一般会計予算 所管部分

**質疑** 文化振興費について、乙塚古墳附段尻巻古墳整備工事について。

**答弁** 段尻巻古墳の割れた天井石の補修、墳丘の漏水防止工事及び周辺整備等を3年間で計画しており、来年度は工事監理業務委託及び乙塚古墳整備、周辺広場整備を予定している。

**質疑** 青少年育成費について、放課後教室の指導員の体制は。

**答弁** 市内に8教室あり、少ないところで2名、多いところで6名配置し、現在25名体制であるが、来年度は4名増員し、29名体制を予定している。

**討論** 電源立地地域対策交付金を受けることにより、瑞浪超深地層研究所の方針に反対しにくくなることから、この予算には反対する。



乙塚古墳

### 平成31年度土岐市駐車場事業特別会計予算

**質疑** 駅前駐車場等整備工事について、駅前広場自動車駐車場及び駅前自動車駐車場の駐車台数は。

**答弁** 新設の駅前広場自動車駐車場は12台。駅前自動車駐車場は16台の予定である。

### 平成31年度土岐市水道事業会計予算

**質疑** 配水施設改良費について、耐震化の進捗状況は。

**答弁** 最新の耐震化率は32.5%で、年間約1%を目標に、土岐市水道事業経営戦略に基づき計画的に工事を進めている。

### 平成31年度土岐市下水道事業会計予算

**質疑** スtockマネジメント計画について。

**答弁** 下水道施設を計画的かつ効率的に管理するもので、来年度は管路、マンホールポンプ、処理場について実施するものである。

### 平成30年度土岐市一般会計補正予算（第6号） 所管部分

**質疑** 学校建設費について、空調設備は全小中学校に設置するのか。

**答弁** 普通教室を優先に全小中学校に設備する予定である。

### 土岐市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

**質疑** 駅西及び駅前駐車場の利用料金は変更されるのか。

**答弁** 両駐車場の利用料金の変更はない。

### 土岐市水道事業経営審議会設置条例の一部を改正する条例について

**質疑** 水道事業と下水道事業とを1つにして問題はないのか。

**答弁** 委員構成が同じであり、審議は事業ごとに行うので特段問題はない。

### 土岐市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について

**質疑** 専門職大学とはどういう大学のことか。

**答弁** 学校教育法の改正により4月から創設される新しい制度で、職場の即戦力となる人材育成を目指す実践教育機関である。



小関 篤司

◆国民健康保険について

問2018年4月から都道府県化によって制度が大きく変わりました。この変更で住民の生活を守るか、防波堤になれるのか、自治体の役割も問われています。土岐市の国保料の水準は県下でどのようか。

答平成30年度1人当たりの保険料調定額は9万3096円で、県で31番目です。平成29年度は10万3643円で、県22番目でした。

問1万円近く下がった要因は。

答30年度は経営努力分の経過措置の交付金が交付されたことが大きな要因だと考えています。

問30年度は下げることが出来ましたか、今後の見通しは。

答この水準が維持されるかどうかは今の段階では分かりません。

問今は下がっても今後どうなるのか注視しなくてはいいけません。この間、2017年7月に国の財政支援の要望を全国知事会が出し、2018年6月に全国市長会が国庫負担割合の引き上げなどの重要提言を行いまし

た。市長はどのように考えますか。

答(市長) 国民皆保険制度で国保が一番脆弱であります。これからどんだん国保財政が苦しくなります。市町村として、国に対して支援の拡充を一応働きかけていきたい。

◆幼児教育・保育の無償化について

問10月の制度移行で幼児教育、保育の無償化の対象は。

答3歳以上の就学前児、0歳〜2歳までの市民税非課税世帯が対象。幼稚園、認可保育園、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設や一時預かり事業所、ファミサポ、病後児保育などが該当します。

問給食費はどうなりますか。

答国は3歳以上の小学校就学前児の、主食費、副食費を実費徴収としています。当市は現在、食材費等の実費分は保育料に含めていますので、今後対応を検討していきます。

問給食費を実費負担にすると今の保育料より高くなる可能性はないか。

答今は所得に応じた保育料になっていますので、例えば保育料が安い人は上がる可能性はあります。

●つい数年前に保育料を改訂して、保育園は主食代を市の負担に変えました。仮にも幼児教育、保育の無償化というなら、今よりも負担が増えることがないように検討することを強く要望します。

《第1回定例会一般質問》



水野 哲男

◆濃南小学校小規模特認校制度について

問導入までの経緯について

答濃南小学校の小規模化に歯止めをかけ、学校や地域の活性化につなげる目的で準備を進めてきた。準備委員会の開催や、各地区自治会や校長会、こども園の保護者の説明会などを開催してきた。

問入学を決めた理由や要望などについて

答家族との面談の中で、豊かな自然と少人数できめ細かな指導が何よりも魅力的であると言ってみえた。

◆濃南小学校及び濃南中学校の今後の教育の展望について

問小規模特認校に続く、特色や魅力のある教育方針の考えについて

答次の一手として、さらなる特色化や魅力づくりを進めながら土岐市の誇れる学校として行くことを目指して、平成三十二年四月から小中一貫

教育校に移行したいと考えている。

問小中一貫教育校のメリット、デメリットについて

答文科省の調査によりますと、授業が分かり、学習意欲が向上するなど、いわゆる中一ギャップの緩和や教職員員の指導姿勢や意欲が高まるなどの成果がメリットとして報告されている。一方、九年間を見通した新たなカリキュラムの作成や見直しなど、教職員にかかわる課題がデメリットとして報告されている。

問学校の体制について

答校長が小中を兼務して一人になったほうが合理的で、円滑な運営ができると考えている。教員は小中の兼務となり、小学校のうちから中学校のような教科担任による専門的な授業が可能になると考える。

問濃南中学校はこの制度に適しているのか。

答両校は校舎が隣接しており、当制度移行にとって大きな強みである。また、これまでも小中連携した教育を進めて確かな成果をあげており、条件は整っていると捉えている。





山内 房壽

◆総合病院が破綻状態になった原因

は。

○市長 一番の原因は医師不足です。順当に医師が確保できなかったというのが一番の原因だと考えている。

○医師の派遣が無い原因は。

○市長 基本的には私も詳細はわかりません。

○市長が指定管理について病院の職員に説明に行かれた事がありますか。

○市長 職員につきましては行っておりません。院長を中心に管理者の皆さんにお話をしに行きました。

○職員に対する思いを一言。

○市長 公務員の立場から民間に移るということで新しい職場に移った方も見えますし残られる方、それぞれの立場で行政として出来る事はしていきたいなとも思います。職員の皆さんは公務員という安定的な立場からそれを求めて就職された方もおられますのでそういう事を考えれば大変残念だなと思います。

○市民に対する説明は。

○市長 病院を存続するという議論よりも、医師を確保して地域医療を守っていくかという観点が理解していただけなかったと思います。このまま行ってもドクターがいなくなれば廃止という最悪の場合になりますので指定管理を導入することに至ったわけです。

◆周辺の街づくりについて

○駅前周辺の現状をどのように考えてみえるのか。

○市長 駅周辺の利便性を高めることで道路の整備や駅広の整備をして駅周辺は居住空間としていかに再生するかというのが大事ななと思います。

◆イオン開業について

○イオン開業時期はどのように考えてみえるのか。

○イオンが提示した2021年度以降が妥当な線だと思って早まることは無いと思っています。

○イオンとの紳士協定とは。

○最初に結んだ協定がありお互いが誘致に向けて努力しようというもので開業時期を明記して補償問題を協定で決めていないという意味です。

○イオンとの協定は無いのか。

○それ以降財産区と土岐市とイオンで協定を結んでおり、イオンが撤退したら投資した分は補償していただく申し合わせはしています。

《第1回定例会一般質問》



和田 悦子

◆太陽光発電事業をめぐる環境問題と対策について

○太陽光発電事業が増え、平成二十七年十月末で、約八割が事業者です。心配している事は使用済みの太陽光パネルの不適正な処分や不法投棄、現場への置き去り投棄です。太陽光発電設備指導要綱制定以前の事業者の把握はされているのか

○把握はしていない。

○要綱制定後の設置数は平成二十九年までで十八件の事業が行われたが事業者は市内か市外か県外か。

○すべて市外の事業者。県内事業者は四件、県外事業者は十四件です。

○太陽光発電設置要綱の適用する面積は1000平方メートル以上と認識しているが、1000平方メートル未満の小規模事業者の数は把握されていないのか。

○要綱の対象が該当しないので届け出がなく把握していない。

○富士宮市や志摩市では小規模な再生エネルギー発電設備設置事業に関するガイドラインを制定している。

土岐市において制定は考えられないか。

○現段階では、1000平方メートル以上という面積要件を下げるということについては見直すスタンスはない。

○東京商工リサーチにおいては平成二十八年は太陽光パネル関連事業者の倒産が過去最高を記録し、太陽光パネルの不法投棄等の発生を懸念する意見があった。将来の対策をお願いしたい。

◆外国人観光客誘致対策について

○海外から人を呼び込むには陶磁器産業を売りにした戦略が考えられる。陶磁器研究者で、陶芸家としても世界的に有名な小山富士夫氏の窯跡が美濃陶芸村の一角にあるが、現在、窯跡の管理はどのようにやっているのか。

○遺族から市に寄託され、現在は市の所有となっている。毎週の窓の開閉、清掃業務、道路の補修などを実施している。

○小山氏は国内外にファンが多く、窯跡を整備して誘客に結び付けることができなにか。

○進入路が狭小で未舗装。水道の布設がなく、現状では積極的な活用は難しいと考えている。

○費用を上回る効果を検証してみることも必要ではないか。



水石 玲子

◆教育環境の改善に向けて

問 通学カバンの重量軽減について

答 小学校は、国語、算数以外の教科書やノート、その他学用品は置いてよい。中学校では、5教科以外の教科書、ノート、その他学用品等は置いてよいこととする。

◆子育て世代に優しい環境づくり

問 土岐市立児童館の設置及び管理に関する条例について

利用者の利便性を考慮した条例等の改善の考えは。

答 条例に市内とありますので、条例に基づいて対応する。

問 放課後教室について

市内の放課後教室の利用数は。

答 2月現在の登録者数、1千167名。平成30年4月から平成31年1月までの延べ人数7万7千724名。1クラスあたりの1日平均は、約45名。

問 卒園児の小学校入学式までの受け入れ状況は。

答 新2年生から新6年生は4月1日から参加できる。

新1年生の参加は、入学式の翌日から参加。

問 今後の方向性について

答 受け入れ側の体制整備・課題を整理しながら、放課後教室以外での方法も検討し、対応策を研究していく。

◆避難所の整備について

問 小・中学校の体育館の空調整備について

答 現在、普通教室へのエアコン設置を最優先で進めている。今のところ体育館のエアコン設置は考えていない。今後の検討課題とする。

◆市民の健康増進について

問 風疹抗体検査、予防接種について 当市の対象人数は。

答 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性が対象で2月末現在で6千807名。

問 周知方法は。

答 4月以降、案内文とともに抗体検査と予防接種を無料で受けるクーポン券を同封し、個別に郵送する。



放課後教室

《第1回定例会一般質問》



楓 博元

◆獣害対策について

問 豚コレラに対する市の対応は。

答 これまでイノシシ2頭を検査し、陰性でした。又イノシシの拡散防止のために県に協力しています。

問 イノシシ狩猟禁止区域はどうなっていますか。

答 3月15日まで市内全域が禁止区域になっています。再開については現在のところ未定です。

問 補助金を利用しての捕獲数の大幅な増加を期待しますが、過去の捕獲数を教えてください。

答 捕獲に対する報奨金の増額ということで、オリ等の補助の増額ではありません。捕獲数は、年度・イノシシの数・アライグマ等の数でお答えします。

27年・298頭・13頭、  
28年・324頭・19頭、  
29年・426頭・19頭です。

問 電気柵・金属柵の設置補助事業について伺います。

答 受益戸数が3戸以上ある場合に現物支給をしています。主に濃南地域

と肥田町で支給しています。

問 補助制度を利用したいが3戸以上の受益者でない人への対応策を考えていただきたいが、どうですか。

答 現在は、農作物への鳥獣被害防止総合対策交付金によっていますので、これ以外の補助は対応できません。

◆企業誘致について

問 新しい企業誘致用地の確保について伺います。

答 定林寺地区の用地は、調査をしています。事業費が27億円と高額になるため、方針は決まっています。下石西山地区の用地については、今年中に進出企業の公募をする計画です。敷地の造成等を市で行なうことは考えていません。

問 企業誘致の成果を公表ください。

答 地域名・固定資産税と法人市民税の合計額・市内在住の雇用者数でお答えします。プラズマリサーチパーク、2億6千900万円・901人、アクアシルヴァ、4億8千200万円・188名、南テクノヒルズ5千700万円・69名となっています。

問 イオンモールの早期開店への動きはどうですか。

答 市、財産区、イオンモールの3者で協議しています。

問 植物工場が誘致できたようですが。

答 1件進出され、本年6月より操業されると聞いております。



小栗 恒雄

◆遅すぎる議会への資料提供、拙速な土岐総合の指定管理化

問 今回の土岐市総合病院の指定管理者の指定について、この議会で議決され、指定管理が開始されるまで、期間が約一年ほどの猶予がありますね、その一年間で相手方との協定内容の詳細がきまるとすれば、今回決定された指定管理者に有利な協定が結ばれる気が僕にはいたしません。

実際に土岐総合の指定管理予定者と詳細がどこまで詰められているのかご答弁をお願いいたします。

答 議会に対して、指定管理の業務をお願い、あるいは条件で指定管理予定者に特定することについて、指定管理予定者と内容についてコンセンサスを得ておく必要があると思いません。今回、議会にご提案を差し上げました指定管理者の指定についての協定は、締結をまだしておりませんが、その内容については市と指定管理予定者の間で、その内容については同意しているところです。

問 私は、土岐総合の指定管理化に反

対するものではありませんが、当該の指定管理者を指定しようとするときは議会の議決が必要であります。私は、指定管理予定者とのすり合わせの内容の資料を早く議会に出してくださいとお願ひしていたんですね、未だにその資料が出てこないんですよ。議員が議決をしようにも、議員には何も知識がないわけでありまして、委員会の直前に出していたとしても、委員が精読する時間もなく、内容を精査や理解できないうちに拙速に形だけの委員会審査を済ませることは、何か大事な点を見落としているようで、土岐総合の将来に大きな災いを引き起こすようで大変心配であります。市長は、在任中にどうしても土岐総合の指定管理化を決めたいと思っておりますか。

答 資料につきましては、実際に十二月の時点では、まだ素案は全然ありませんでした。やっぱり指定管理する方もいろいろ考えて、どういう医療体制にして、できるだけ効率的に病院が運営できるかということも吟味しないかんといいこともあり、そういう意味で決まっていなかったわけですが、今回提案させていただいた中には、向こうもどのような体制の内容を詰めてきておりますので、できるだけ早い段階でその資料を出したいなと考えております。

## 《第1回定例会一般質問》



渡邊 隆

◆土岐市公の施設の指定管理者制度による厚生連指定管理者選定について

問 指定管理制度導入フローを基に総合病院再編で市長による非公募決済が最善の方策であるとの根拠は。

答 指定管理者選定は原則公募ですが市場で受け皿がない業務では直営を考えますが、今回の一番大きな要因は、公募で応募者があるかわかりませんが、将来を見据えて東濃医療体制を確保するために東濃厚生病院との一院化が望ましいという目標に向けて東濃厚生経営者である厚生連へ指定管理をお願いするのが適正という意味で進めさせていただいた。

問 指定管理導入にあたっての判断基準は。

答 病院事業は全てが公的病院ではない。大きな民間病院もあり、民間のノウハウを活用できると同時に、市民の皆様が求めている医療提供体制を確保するために民間の力を借りるという判断です。

問 再編のポイントである医師確保の

財政上の課題について、指定管理導入後、医療提供体制をどう展開されるのか。メリットは何か。

答 かねてから、この地域の医療提供体制をいかに守るか、いかに確保するかということは何度も申し上げています。現行の医療提供体制を確保、財政負担軽減を実現できる相手として、厚生連を指定管理者に指定する提案です。

問 政策医療、医師数、医療収支等医療体制はどのようになるのか。

答 指定管理者については、現在の医療提供体制をそのまま継続するという前提で依頼をしています。政策医療は通常やると不採算になる救急医療、小児医療、リハビリ医療があるが、協定の中で位置づけています。総合病院が指定管理となってしまうのか、詳細は全部決まっています。医師が残るか、厚生連が補充するか決まっていない。診療科確保、医師派遣について医局へ求めることを、今後も努力します。

問 住民のニーズ、判断基準等協定の内容が説明不足です。

答 厚生連より医師数は21人から26人と試算されている。指定管理料は5年間で上限22億円で設定されています。

# 視察報告

## 議会改革特別委員会

平成31年1月15日 滋賀県米原市

○議会基本条例の検証について・政治倫理条例の制定・改正について  
米原市議会においては、基本条例の検証を4年に1回、または必要に応じてこの条例の目的が達成されているかを検証シートを作成し、それを議会運営委員会において検証したり、学識経験者による議員研修と意見交換をおこなっているとのことと参考になりました。



△米原市視察



△鳥羽市視察

平成31年1月16日 三重県鳥羽市

○議会基本条例の検証について・政治倫理条例の制定・改正について  
鳥羽市議会においては、「通年会期」を採用しており、会期を1年とし、災害時などには、すぐに予算の補正ができることがメリットであるとのことでした。鳥羽市議会災害時行動計画を策定されており、これはおおいに参考にすべきと考えます。また、議員の会派をなくし、全員協議で対応しているとのこと。会派の有無については一長一短はあるがのびのびと発言できて特別な支障はないとのこと。

自由闊達な意見交換など参考にしながら、土岐市議会も順に改革をしていく必要性を感じました。

## 行財政改革特別委員会

平成31年2月5日 兵庫県高砂市

○ごみ処理施設整備について

兵庫県高砂市・加古川市・稲美町及び播磨町の東播2市2町では、既存のごみ処理施設の老朽化に伴い、廃棄物処理の広域化を検討され、平成25年2月には処理施設の用地を高砂市において施設整備を整備する事を決定され平成34年3月の竣工にむけて建設中でした。建設工事費は約238億円で、運営費は20年間の業務委託で年間約6億7500万円となっており各市町での負担や運営費の減により高砂市では大幅な負担の軽減の予定となっていると説明を受けました。



△高砂市の建設中のごみ処理施設

平成31年2月6日 兵庫県川西市

○市立川西病院の指定管理について

市立川西病院は平成21年市立川西病院事業経営改革経営改善に努めた結果、医師確保と医業収益は増加しましたが、医師の確保に伴う給与費の増や設備費用の増が収益増を上回り赤字幅は大きくなりました。平成26年度決算で経営健全化団体となったことから市立川西病院経営健全化計画を策定され経営改善に取り組みされましたが、病院施設の老朽化、市の財政支援の限界と経営形態の見直しを検討され、従来の市立川西病院250床と指定管理者の共立病院313床を合併し400床の新病院の整備を決定され平成32年度から平成33年度に建設工事が行われる予定となっております。指定管理者の建設費負担により現在の繰出金から比較すると大幅な財政負担の軽減となるとの説明を受けました。

# 特別委員会活動報告

## 議会改革特別委員会

平成三十年度の活動

六月二十日

1. 議員定数及び報酬について
2. 政治倫理条例の検討
3. 議員間討議についてを審議。定数については人口が五万五千人を切った時との提案があったが、明確な根拠がなく、再協議となった。報酬については現状維持。

九月二十日

1. 議員定数
2. 政治倫理条例の検討
3. 議員間討議
4. 行政視察についてを審議。議員定数については全国議長会の調査結果から土岐市の人口五万五千人を基準とし、それより人口が減った時に一名の減と決定。通年議会についての協議、委員会開催回数増加の要望がありました。

十二月十三日

行政視察を討議。先進地である米原市議会、鳥羽市議会を視察先と決定。

平成三十一年一月十五・十六日 米原市、鳥羽市へ行政視察。

平成三十一年三月十九日

視察を終えての意見交換。次年度の議会改革特別委員会へ申し送り事項として、議会基本条例の検証。政治倫理条例の制定。通年議会の検討。会派を無くすこと等の意見が出され、全て申し送ることに決定しました。

## 行財政改革特別委員会

土岐市は、新庁舎建設・土岐口開発関連事業・駅前広場整備・西部こども園建設の大型事業を抱えるとともに、公共施設の老朽化問題、増え続ける社会保障費、総合病院の今後の方向性など、多くの懸案事項をかかえながら、財政運営を進めて行かなければならない状況です。

行財政改革特別委員会は、将来にわたり安定的な財政運営を図ることができるよう、行財政改革の視点から、調査・研究をすることを目的として昨年五月に設置をいたしました。

今年度は、市の財政運営に大きな影響を与える総合病院と環境センターの方向性についてをテーマとし、調査・研究に取り組んでまいりました。

慢性的な医師不足等により、大変厳しい経営状況の中、一般会計を圧迫する総合病院状況について、病院経営改善支援アドバイザーによる経営改善の取り組みについて報告を受け、当面の経営改善に有用であると認識しました。

一方で、総合病院の方向性については、病院事業改革プラン推進委員会での検討結果を基に議論がなされましたが、議会内でも意見が二分される中、県政報告を特別委員会としての統一的な見解を示すに至ることはできませんでした。

次に、築三十年を経過した環境センターについては、長寿命化計画により平成四十二年度まで、焼却炉の使用が見込まれていきます。しかしながら、施設整備には多額の費用を要することから、広域化を含め早期に施設整備の検討が必要であると認識しました。今後とも、将来にわたり、安定的な財政運営を図ることのできるよう、監視機能を十分発揮できるよう努めてまいりますのでよろしく願います。

## 政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として各会派（所属議員が1人の場合を含みます。）に交付されるものです。

**交付額 議員1人あたり年額15万円 = 月額12,500円 × 12か月**

各会派は、毎年、1円以上の領収書を添付した収支報告書を議長に提出しています。

残額（返還額）がある場合には、市に返還しています。

ホームページにて、領収書を公開しておりますので、ご確認ください。

<b>その他の経費</b> 左記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費（謝礼金、消耗品等）	<b>会議費</b> 会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費（会場費、資料作成費等）	<b>要請・陳情活動費</b> 会派が要請、陳情活動を行うために必要な経費（交通費等）	<b>広聴費</b> 会派が住民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を吸収するための会議等に要する経費（会場費、印刷費、茶菓子代等）	<b>広報費</b> 会派が調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、PRするために要する経費（広報紙作成費、報告書印刷費、送料、会場費等）	<b>資料購入費</b> 会派が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入費等）	<b>資料作成費</b> 会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費（印刷製本費、翻訳料、リース代等）	<b>調査旅費</b> 会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費（交通費、旅費、宿泊費等）	<b>研究研修費</b> 会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費又は会派が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費（会場費、講師謝金、出席者負担金・会費、交通費、旅費、宿泊費等）
--	--	--	---	--	---	--	---	---

### ■平成30年度 各会派の政務活動費収支報告【交付対象期間 平成30年4月～平成31年3月】

内訳 会派名	交付額 (人数)	費 目 別 集 計									合 計 (執行率)	会派 負担額	返還額
		研究 研修費	調査旅費	資料 作成費	資料 購入費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	その他の 経費			
新世クラブ	1,200,000 (8人)	643,486	445,720	0	0	0	0	0	0	0	1,089,206 (90.7%)	0	110,794
絆	600,000 (4人)	351,212	0	0	0	0	0	0	0	0	351,212 (58.5%)	0	248,788
市民ライフ	150,000 (1人)	0	0	0	0	248,794	0	0	0	0	248,794 (100%)	98,794	0
公明党	300,000 (2人)	263,710	0	0	1,728	0	0	0	0	0	265,438 (88.4%)	0	34,562
礎	150,000 (1人)	77,610	0	0	0	0	0	0	0	0	77,610 (51.7%)	0	72,390
市民ファースト	150,000 (1人)	79,640	0	0	2,400	0	12,398	0	0	0	94,438 (62.9%)	0	55,562
日本共産党	150,000 (1人)	0	0	0	31,600	139,896	0	0	0	0	171,496 (100%)	21,496	0

(単位 円)

## 会派の紹介

※◎代表者

### 新世クラブ



◎西尾 隆久



杉浦 司美



楓 博元



加藤 辰亥



加藤 淳一



山田 正和



各務 和彦



水野 哲男



安藤 学

### 公明党



◎高井由美子



水石 玲子



◎小栗 恒雄



◎後藤 久男

### 市民ライフ

### 市民ファースト

### 至誠クラブ



◎鈴木 正義

### 市民の和



◎北谷 峰二

### 市民ネットとき



◎和田 悦子

### 日本共産党



◎小関 篤司

### 新しい風



◎後藤 正樹

## 編集後記



本年度は市議会議員選挙で新たな体制となりました。新しい庁舎での臨時議会では正副議長、各委員会の正副委員長、各委員メンバーが選任され、新年度がスタートしました。

これからも市民のみなさんから、見えやすく、開かれた議会、委員全員で協力して分かりやすい紙面をめざして「議会だより」で議会活動の発信にこれからも努めていきます。

ぜひ新庁舎での本会議、各委員会や議会報告会などにもお気軽にお越し下さい。積極的なご意見をお待ち致しております。

みなさんの声を行政に届け、よりよい土岐市政づくりに生かして頑張ってもらいますので、これからもよろしくお願ひ致します。  
(文責 小関 篤司)

### 議会だより編集委員会

編集委員長：小関篤司 副編集委員長：和田悦子  
委員：西尾隆久 楓博元 後藤久男 水石玲子  
安藤学 後藤正樹

## 次回6月定例会(予定)

※午前9時開会予定(変更の場あり)

6月4日(火) 本会議 初日(議案提案説明)  
6月14日(金) 本会議 2日目

(質疑・委員会付託・一般質問)

6月17日(月) 本会議 3日目(一般質問)

6月18日(火) 本会議 4日目(一般質問)

6月19日(水) 文教厚生委員会

6月20日(木) 総務産業建水委員会

6月27日(木) 本会議 最終日

(委員長報告・質疑・討論・採決)